

日本サイクルツーリズム推進協会

Annual Report

2017/11～2018/10



2017年5月に自転車活用推進法が施行され、同年11月1日に一般社団法人日本サイクルツーリズム推進協会（JCTA）が発足しました。

設立1周年の節目を迎え、ここまで来られましたのも、皆様からのご理解とご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

初年度JCTAは地域活性化に向け、国内外からのサイクリスト誘致を支援すべくグローバル水準のサイクリングガイドの養成に努めて参りました。今年度はそれに加えて、日本国内各地域の自転車活用を推進するため、青少年に対する自転車教育にも注力して参ります。

代表 西田 恵理子

ガイド 養成

～サイクリングツアーガイド養成講座～

2017年11月1日に設立後、この1年間に山口県や北海道をはじめ、7都道府県10都市において、サイクリングツアーガイド養成講座を行い、100名余りの方が受講されました。



1/13-14 東京都

東京都中央区において、発足後初となるJCTA主催サイクリングガイド養成講座を実施し、北海道や、長野県、静岡県など全国各地から7名が参加しました



山口県と阿東市が共催したガイド講習会では、10名が参加し、サイクルトレインを使った講習会を行いました



山口県阿東市 3/24-25



山口県周防大島町
5/12-13 (写真上)

6/2-4 札幌市
金曜を使い、2.5日の講習会でしたが、それでももっと時間をかけたいとのリクエストがありました



札幌市の講習会では女性ガイドが4名誕生しました

2017年

2018年

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

設立

ウエブサイト・リリース

ガイド養成講座説明会

設立メンバー初会合

ガイド養成講座@東京都

Cycling UK 第1回目交渉

第1回 運営委員会

協賛会員企業募集開始

お社様よりご協賛いただく

サイクルツーリズム勉強会

第2回 運営委員会

認定ガイド支援サイト構築着手

講演会@札幌 インバウンド観光

ガイド養成講座@阿東市

第1回 総会・理事会

ガイド保険導入着手

第3回 運営委員会

ガイド養成講座@周防大島町

Cycling UK 第2回目交渉

メンバー親睦キャンプ

第4回 運営委員会

ガイド養成講座@札幌

ガイド養成講座@北見

ガイド養成講座@鶴居村

第5回 運営委員会

第2回 総会・理事会



北海道サイクルツーリズム推進協会の主催で
北見市と鶴居村で講習会を行いました



英語と日本語で
見どころ説明を！
@京都府八幡市
9/22-23 (写真左)



走行上の注意事項を軽妙な語り口とお手製
カードで説明 茨城土浦市 6/20-21 (写真上)



北海道鶴居村では、大自然を活かして
グラベルを走行しました

青森や大阪など遠方からの参加者を迎えて
@土浦市 6/20-21 (写真下)

太宰治縁の地、五所川原市では、津軽鉄道のサイクルトレインを
実習に取り入れました 青森県五所川原市 9/29-30 (写真中)



青森では初めて電動アシスト自転車を使ったガイドが誕生
(写真上)

8月

9月

10月

Cycling UK 契約締結

第6回 運営委員会

子供のための自転車教室@埼玉

認定ガイド支援インフラ導入

・ガイド保険導入

・Cycling in Japan 運用開始

第7回 運営委員会

ガイド養成講座@京都八幡市

ガイド養成講座@五所川原市

ガイド養成講座@青森市

第8回 運営委員会

講演会、青森 インバウンド)

第3回 総会・理事会

八甲田丸を背景に (写真下) 青森市 10/20-21



ガイド 保険

日本サイクルツーリズム推進協会（JCTA）は、養成したサイクリングガイドの方々安心して活躍していただくためのインフラを整えています。

～ JCTA認定ガイドさんを万が一の時に守る保険を導入しました～

9月9日 JCTAは認定ガイドさんが、万が一ツアー催行中に参加者の方が事故などに合わせ、参加者等から賠償責任に問われた場合に備え、ガイドやインストラクターを守るための保険を導入しました。保険料は年会費に含まれますので、JCTA会員（認定ガイド/認定インストラクター）には自動的に付帯されます。

1. 主旨

JCTA(以下協会)及び同会員が関与する事業において発生した協会及び会員に対する賠償事故対策を事前に講じることによって、協会及び同会員が関与する事業に対しリスクフリーな体制を整えることが目的です。

2. 対象事業(国内限定)

協会及び同会員が主催又は他社からの要請に基づき実施する事業が対象となります。

- (1) サイクリングガイド
- (2) 講習会(ガイド養成講座、自転車教習会等)・講演会

3. 具体的内容

(1) サイクリングガイド用賠償責任保険

- ① 対象事業：協会が関与するツアー、又は同会員がビジネスとして行うツアー。有償・無償を問わず、事業の開催全期間がカバーされます。
- ② 契約者：協会
- ③ 被保険者(注)：協会及びその構成員（認定会員含）

④ 契約内容(基本契約・支払限度額・免責金額)

- 対人・対物賠償(特約条項等については別添)
- 支払限度額(1名) 1億円
- 支払限度額(1事故または1請求) 1億円
- 免責金額(1事故または1請求) 0円

4. 保険適用の条件

- (1) ツアーガイド用賠償保険は、あくまでもJCTA協会会員としてツアーを引き受けることを建前としています。
 - ①実施ツアー把握のため、会員個人でガイドを引き受ける場合も協会に届け出る必要があります。
 - ②届け出の内容：日程、開催地、開催期間、参加人数(添付)
 - (2) 会員がガイドをしないツアーには適用されません。
 - (3) ツアー実施に際しては、以下を携行していただきます。
 - ①協会が契約者となっている賠償保険の証券番号
 - ②万一事故が起きた場合の連絡先(協会/保険会社)
 - ③事故内容報告書

★★★★★★★★★★ セミナー&メディア掲載記事 ★★★★★★★★★★

平成30年度 あおもりツーリズム創発事業
ALL TOGETHER COCC
青森中央学院大学
まちなかキャンパス 地(知)の拠点

サイクル・ツーリズムセミナー
海外のサイクリストの傾向と日本のサイクリング観光・ガイドへの期待 **参加無料**

日時 平成30年10月22日(月) 13:30～15:00
会場 青森文化観光交流施設 ねぶたの家 W・ラッセ 交流学習室2
〒030-0803 青森市中央1-1-1 TEL: 017-762-1311
(アクセス) 青森駅南口徒歩10分 駐車場 施設内設営所併設駐車スペースあり(無料)

講演 「海外のサイクリストの傾向と日本のサイクリング観光・ガイドへの期待」
一般社団法人日本サイクルツーリズム推進協会・代表 株式会社アズネットジャパン・代表 西田 恵理子氏

講師 西田 恵理子氏(代表) 一般社団法人日本サイクルツーリズム推進協会・代表 株式会社アズネットジャパン・代表
講演内容 2018年、世界最大人口を持つアジア各国でサイクリングブームが起きている。世界のサイクリングブームは、国内で起きているサイクリングブームと異なり、海外から訪れるサイクリストの増加が大きな特徴となっている。この海外からのサイクリストの増加は、日本のサイクリング観光やガイド業務に大きな影響を与えている。本講演では、海外からのサイクリストの傾向や期待を踏まえ、日本のサイクリング観光やガイド業務の現状や今後の展望について解説する。

定員 50名(定員に達した時点で締め切り)
対象 観光関係者、観光関係者、観光関係者、学生、一般

主催 青森COC(青森県観光振興局、青森市観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局)
協賛 青森県観光振興局、青森市観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局、青森県観光振興局

お問い合わせ先
青森中央学院大学 地域マネジメント研究所 TEL: 017-728-0121 Fax: 017-738-8333
E-mail: tokai@ccoc.ac.jp

10/22 青森COC+推進機構雇用創出プロジェクトの招きにより、「海外のサイクリストの傾向と日本のサイクリング観光・ガイドへの期待」と題したセミナーを行いました(写真左)

5/30 北陸中日新聞朝刊「自転車旅誘客走ると題したコラムで、現地ガイド養成で「着地型」体験をとしたコメントが掲載されました(写真右)

3/6 (一社)北海道開発技術センターのセミナーに講師として招かれ、海外のサイクリストの傾向と分析についての講義を行いました。この内容はDEC Monthlyにて紹介されました(写真右上)

2018.4.1 vol.391 サイクルマガジン
dec monthly
第17期(野生動物と交通)研究発表会
第2回(野生動物と交通)学会 第2大会 第2回発表

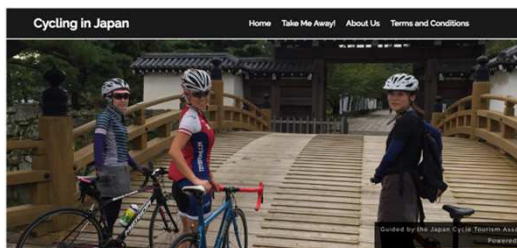
「現地ガイド養成」
サイクリストの誘致に向け、地元住民の参加を促す取り組みが、地元住民の参加を促す取り組みが、地元住民の参加を促す取り組みが...

「着地型」体験をとしたコメントが掲載されました

認定ガイド専用サイクリングツアー募集サイト

サイクリングコース紹介・予約・決済をワンストップで！

“Cycling in Japan” リリース



～導入の目的～

JCTAはサイクリングガイドを養成するだけでなく、ガイドさん自身が活躍できるインフラを提供したいと考え、このサイトを導入しました。国際的にも通用するスキルを持ったガイドさんのサイトであることをアピールする事で、国内のみならず、海外からのお客様にも安心してサイクリングを楽しんでいただけます。

RIDE THE ROADS LESS TRAVELED

～このサイトでできること～



- ご自身で企画したサイクリングツアーを宣伝できます。旅行会社などからの仕事依頼を待つだけでなく、自分のお客様を誘致しませんか？
- サイクリングコースを紹介し、募集するだけでなく、予約を受けつけ、さらにツアー代金の決済もできます。海外からのお客様の8割以上が来日前に予約をします。どんなに素敵なサイクリングコースを紹介しても、どうやって予約して良いかわからなければ、魅力的な紹介サイトも絵に描いた餅です。
- レンタル自転車や宿泊施設等、付帯的な情報も紹介できますので、お客様にとっては予約し易くなります。
- 日本のお客様だけでなく、海外のお客様にもアピールできます
- 日本語英語の2つの言語でサイクリングコースを紹介します。海外のお客様にアピールするためには英語は必須ですが、英語を自分で書く必要はありません。翻訳サービスもセットでつきますので、英訳も心配ありません。

<http://cycling-in-japan.org>

自転車活用推進計画の位置づけられた“ガイドツアー”

なぜガイド育成というニーズが増えているのか、自転車活用推進法の施行が大きく作用している。

日本サイクルツーリズム推進協会（JCTA）の中核事業は、ガイドの育成と認定。2017年11月の発足以来、地方自治体からの要請により全15回の「サイクリングツアーガイド育成講座」を開催してきた。開催地は山口県から北海道まで13地域におよび、受講者の総数は100人を数え、日本最大級の実績を誇る。

JCTAは基本方針の一つは「その土地ならではの魅力を知り尽くした現地サイクリングツアーガイドを育成すること」。この基本方針が、サイクルツーリズムの振興や自転車活用推進計画策定に取り組んでいる自治体のニーズに合致しているからだ。

2017年5月1日に自転車の活用を総合的・計画的に推進する基本となる「自転車活用推進法」が施行された。自活法の基本方針の14番目は“観光来訪の促進、地域活性化の促進”と規定されている。

国の計画中に“ガイドの養成”登場

自活法第9条に基づいて国の「自転車活用推進計画」が策定され、2018年6月8日に閣議決定された。国の計画の目標3として「サイクルツーリズムの推進による観光立国

の実現」が掲げられている。目標3に含まれる施策12は「世界に誇るサイクリング環境の創出」。施策12中の措置③に「サイクリングガイドの養成等受け入れ先として備えるべき要件」という文言が登場する。国の計画の措置として“サイクリングガイドの養成”が挙げられていることに注目していただきたい。

自活法の第9条と第10条に、都道府県と市町村は、国の自転車活用推進計画を踏まえて、推進計画の策定に務めることが規定されている。当然、この地方版の推進計画でも“サイクリングガイドの養成の措置による世界に誇るサイクリング環境の創出”が求められる。これがニーズとなって、JCTAのガイド育成講座に注目が集まっているわけだ。

自活計画に規定により、今後、地方版の推進計画に取り組む自治体が増えるのは間違いない。それによって、JCTAのガイド育成講座への期待はますます大きくなるだろう。

宮内 忍

日本サイクルツーリズム推進協会 理事
NPO法人日本風景街道コミュニティ
サイクルツーリズム研究委員会 顧問

子供の 教育

～子供の自転車教育開催しました～

9/9 埼玉県彩湖にて、年長さんから中学一年生まで9名の子供たちが集合し自転車のゲームや路上講習を楽しみました



まずは、ヘルメットの被り方から！ゲームを通じて自転車で楽しく遊んだあとに、路上講習を行いました。停まっている車を追い越したり、狭い道路から広い道路に出る時に、何に注意しなければならないのか、子供たちと一緒に考えました。



JCTAの自転車教育について

JCTAは140年の歴史を持つ英国サイクリング協会「Cycling UK (CTC)」と提携し、英国運輸省の自転車教育カリキュラムとCTCが培ってきたノウハウを使い、青少年のための自転車教育を推進します。

このカリキュラムは選手育成のためのものとは一線をし、子供たちの身近な暮らしの中で自転車の乗る時に何に注意しなければならないのか、また、他の車両や歩行者とどのように仲良く互いに尊重しながら、サイクリングを楽しむのかについて考えながら能動的に学んでいくというものです。

9月9日 埼玉県にて実施した自転車教室にご参加いただいたお子さんの声

ハラハラ、ドキドキの自転車講習

私は、西田さんと竹之内さんに教えてもらった講習で、自転車は交通ルールを守って楽しく乗る、ということを知りました。……（中略）……下り坂は、ブレーキを少しかけながら下りましょう。…自転車の乗るときの位置、おりの位置は左。右で乗ったりおりたりしてしまうと、車が通るのに、じゃまになるからです。…私は、自転車の講習で、たくさんのことを学びました。そして、自転車って、こんなに楽しいんだなあと、改めて思いました。

はるかちゃん

ぼくは、じてんしゃのじゅぎょうで左がわに立つ事の意味をしりました。次にじてんしゃにのってみんなできょうそうしたり、おそく走ったりしてとてもむずかしかったけど楽しかったです。

りゅうのすけ君

自転車はどこをはしるのか、どこによるのかぼくは色々学びました。いちばん学ぶのがむずかしかったのは、くだりざかはどうやって進むかです。……びょういんに行くところちゆうに大きなくだりざかがあるのでちょっとこわくてすすむことができないので難しく思います。でも、西田さんや竹之内さんのおかげで、こわくなくなりました。

たける君

ゆうくんが、じてんしゃを、おしえてくれたから、うれしかったです。せんせいと、いっしょに、やれたので、こんどからは、ひとりでがんばります。

ひとき君（小1）

～JCTAのサイクリングガイド育成について～

フランス・スペイン・イタリア・スイス・カナダなど、欧米で広く取り入れられている英国のサイクリングツアーガイド養成プログラムを導入し、グローバルスタンダードのサイクリングツアーガイドを育成することで、地域の方々が、国内だけでなく海外からのサイクリストを受け入れ、楽しんでいただくインフラ作りのお手伝いをいたします。

～～～～～～～ガイド養成講座受講者アンケート結果から～～～～～～～

- わかりやすかったです。今までの経験をふまえた話などは説得力があります。
- 充実した内容でした。ガイドに対する意識が漠然としたものから具体的なものになりました。
- JCTAにも一般会員を募り、サイクリングの情報、大会の開催などを冊子又はメールで流してもらいたい。
- 一方的な講習ではなく各人に発言させることでより深め掘り下げた内容だったと思います。
- 実走しながら自分たちで問題点を洗い出しする方法はとても良いと思った。座学と実走のバランスが良かった。
- コースに難しい点を多く含んで頂いており、大変勉強になった。改めて、アイコンタクト、地元のドライバーへのあいさつや道行く歩行者への声掛けをセオリーとして考える機会となり、さらに応用が出来ることを学んだ。
- 日本ではサイクルツーリズムがまだ浸透していない現状に本質的な要素が見いだせる感じがしました。
- サイクルツーリズムが広く日本中に浸透して行くことを願います。
- 日本の協会が間に入っていたことで、クオリティ並びに一部彼らの動きをコントロールしながらサイクリングの適地として育てて行けたらと思っています。

～英国の教育プログラムを使う3つの理由～

1. 道路が狭く、交通量が多い点が日本と酷似している
2. 車両の左側通行など交通ルールが日本と似ている
3. ヨーロッパの中では、サイクリング施策が比較的遅れたため、日本の少し先をいく先輩で、日本としては導入しやすい

- 西田先生 今回の講習は大変貴重な機会を有難うございました。今後、より多くのことを学ばせて頂き、協会に貢献できればと考えております。
- 日本の協会が間に入っていたことで、クオリティ並びに一部彼らの動きをコントロールしながらサイクリングの適地として育てて行けたらと思っています。

～～開催実績（予定を含む）～～

日程	開催地	主催	受講者数
2017/03/18-19	山口県美祿市	山口県/美祿市	8名
2017/9/10, 10/1	滋賀県大津市	自転車店	11名
2018/1/13-14	東京都	JCTA	7名
2018/3/24-25	山口県阿東市	山口県/阿東市	10名
2018/5/12-13	山口県周防大島	山口県周防大島町	8名
2018/6/2-4	北海道札幌市	北海道技術開発センター	10名
2018/6/6-7	北海道鶴居村	北海道サイクルツーリズム協会	10名
2018/6/9-10	北海道北見市	北海道サイクルツーリズム協会	9名
2018/6/20-21	茨城県土浦市	JCTA	10名
2018/9/22-23	京都府八幡市	京都やましろシクロツーリズム実行委員会/京都府自転車競技連盟	8名
2018/9/29-30	青森県五所川原市	五所川原サイクリング協会	6名
2018/10/20-21	青森県青森市	青森県サイクルツーリズム推進協会	8名
2018/11/17-18	山口県美祿市	山口県/美祿市	8名

日本サイクルツーリズム推進協会 主催イベント&講習会 2018年11月~2019年5月

~~~~~詳細に関してはお問い合わせください~~~~~

- 2018年11月 第13回 サイクリングガイド養成講座@山口  
12月 サイクルツーリズムセミナー@南北海道  
第2回 自転車関連トピックセミナー@東京  
電動アシスト自転車などの自転車に関わること、海外からのサイクリング客誘致の取り組み、先進事例紹介、  
JCTAの進めるサイクリングツアーガイドやインストラクターの養成についてなど、様々なトピックについて  
セミナーを開催して行きます。
- 2019年1月 第2回 子供の自転車教室@関東  
第1回 サイクリングツアーガイド養成講座説明会@東京  
第1回 “Cycling UK 講師による”サイクリングインストラクター養成講座@東京  
2月 第2回 “Cycling UK 講師による”サイクリングインストラクター養成講座@東京  
英国からインストラクター・トレーナーを招いて、通訳付きでインストラクター養成講座を開催  
します。
- 第1回 自治体向け講演会&説明会@東京  
3月 第2回 自転車関連トピックセミナー@東京  
第14回 サイクリングツアーガイド養成講座@東京  
第3回 子供のための自転車教室@関東
- 4月 第1回 サイクリングガイドスキルアップセミナー@関東 (初級サバイバル観光英語)  
5月 第2回 サイクリングガイドスキルアップセミナー@北海道 (初級サバイバル観光英語)  
養成したガイドさんのご要望に応え、英語講習と英語によるガイド実習を行いますので、ぜひ  
チャレンジを！  
第3回 自転車関連トピックセミナー@東京



賛助会員企業様

(2018年10月末現在 50音順)

井上ゴム工業株式会社  
オージーケー技研株式会社  
株式会社あさひ  
株式会社クロップス/  
株式会社サイクルスポット  
サイクルヨーロッパジャパン株式会社  
シマノセールス株式会社  
ダイアテック株式会社  
パナソニック サイクルテック株式会社  
ミズタニ自転車株式会社  
ヤマハ発動機株式会社  
有限会社アキコーポレーション



日本サイクルツーリズム推進協会 (JCTA)

理事: 加藤 京子 津末 博澄  
加藤 久美 西田 恵理子  
絹代 宮内 忍  
(50音順)

発行: JCTA事務局  
発行日: 2018年11月1日

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町1-2-5  
ジェイパーク渋谷神泉601  
[info@cyclletourism.jp](mailto:info@cyclletourism.jp) 090-3535-4491